市誕生20周年で地酒を製造

観光事業

市誕生20周年を記念し、市内で採れた米を使った地酒である河岸の蔵が製造され、海中熟成酒も造られました。事業内容や効果について質疑が行われました。

問 市誕生20周年を記念して造った地酒、河岸の蔵の実績は。

答 市内産米100％で1500本を醸造し、うち600本を、静岡県下田市の海底に沈め海中熟成した。酒販店や飲食店で販売・提供し、令和7年12月に完売した。「非常においしかった」「海中熟成酒を初めて見た」などの声があった。

問 令和7年度の課題を踏まえ、今後の展開は。

答 令和8年度は2300本を醸造、大型店2店舗、50店舗以上の飲食店で提供している。産業まつりや環境フェアなどのイベントで、販売、周知、PRをしていきたいと考えている。

わたしもひと言



近隣市町には地酒があります。ふじみ野市でも地産地消でお酒が造れたらの思いから、地酒を造りました。市内産の米「彩のきずな」100％使用です。かつて福岡河岸にありました回漕問屋の土蔵のイメージで「河岸の蔵」の名前がつけられました。地元の皆様に愛される酒となってくれると良いです。

観光協会
地酒造りプロジェクト
古川 惣一さん

シティプロモーションで魅力発信

ホームページ管理運営事業

令和7年度のシティプロモーション事業について、動画広告の展開やYouTubeの視聴回数など、その効果について質疑が行われました。

問 どのような広告展開をしたのか。

答 テレ玉のデータ放送やPR TIMESという民間企業の情報提供サービスを活用した広告を行った。県が災害救助法の適用を受け、PR TIMESを無償で活用し、PR活動を行った。

問 プロモーション動画の実績は。

答 J:COMで1日2回のCM放映や、池袋の副都心線改札前のデジタルサイネージを1ヵ月間一括ジャックしたほか、市近郊のスシロー4店舗、ところざわサクラタウンにて動画を放映した。

問 事業の政策効果は。

答 実施した時期に合わせて、YouTube掲載のシティプロモーション動画視聴回数が増えた。各所の広告に合わせ視聴回数が増え、効果も実証できた。



市ホームページのバナー

社会保険労務士による年金・労働相談を実施

市民相談事業

市民総合相談では、法的な手続や家庭内のトラブル、日常生活の様々な悩みなどに対応しています。令和7年度から始まった社会保険労務士による年金・労働相談について質疑が行われました。

問 令和7年度から始まった社会保険労務士による専門相談の実績と、相談者からの声は。

答 年金・労働相談を、市役所本庁で毎月第2火曜日に実施している。令和7年度は12回実施し、33人が利用した。相談員がとても親切で、丁寧に説明してくれて助かった、特に障害年金や傷病手当について相談者からは、年金事務所に行かなくても相談できてよかったとの声があった。

問 1回の相談で何人程度の予約を受けられるのか。

答 午前中の2時間で、1人当たり30分の4枠となっている。

問 年間で48枠だが、実績は33人となっている。キャンセル待ちがあるのか、すぐに相談を受けられる状況か。

答 開始当初の4月、5月は周知が行き届かず、相談枠が埋まることはなかったが、8月以降は4枠全て予約が入る状況になっている。

どうしても当日来られない人もいるが、1ヵ月待っていただくような状況にはなっていない。



市役所で専門家に相談できる

子どもの可能性を未来へつなぐ学習・進路支援

子どもの進路選択支援事業

生活困窮世帯の子どもに寄り添い、貧困の連鎖を防ぐ進路選択支援事業が令和7年度から実施されました。実績と成果、今後の支援について質疑が行われました。

問 支援の内容と実績は。

答 専門の支援員が家庭を訪問し、学習や生活環境の改善、進路選択、奨学金の活用などを助言する。令和7年度は対象者49人のうち41人が登録し、37人に学習支援を開始した。

問 進学や就職につながった成果は。

答 高校生9人のうち5人が進学し、2人が就職した。福祉資金貸付手続の支援で、専門学校に入学した事例もある。進路情報の共有は保護者への支援にもつながっている。

問 今後支援をどう充実させるか。

答 短期間で成果を得ることは難しく、長期的な信頼関係の構築が必要である。

小学校高学年から支援員との関係を築き本人の自主性を十分に尊重しながら将来の夢をともに描き、その実現に向けて継続して支援していくことが重要であると考えている。

わたしもひと言



ケースワーカーも日中の家庭訪問では子どもと直接話す機会が得にくいです。子どもの支援に長けた専門の支援員が直接家庭訪問を行い、信頼関係を形成します。大人と日常的に関わり、将来像を考える機会を提供しています。そのことにより、子どもが自分にも可能性があると意識転換できる点が大きな効果です。

市生活福祉課副課長
田中 裕樹さん